

総合工学委員会原子力安全に関する分科会小委員会の設置について

分科会等名：研究用原子炉の在り方検討小委員会

1	所属委員会名	総合工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>原子力や放射線利用に関して、これまで重要な役割を担ってきた我が国の研究用原子炉は、材料試験炉（Japan Materials Testing Reactor；JMTR）の廃炉の決定の他、京都大学研究用原子炉（Kyoto University Research Reactor；KUR）や日本原子力研究開発機構が持つ研究用原子炉施設（Japan Research Reactor No. 3；JRR3）などの老朽化など危機的状況にある。</p> <p>一方、もんじゅの廃炉に伴い政府では新たな研究炉の建設も検討されている。このような状況を鑑み、学術会議では、今後の我が国の研究用原子炉のあり方について早急に検討しなければならない。</p> <p>23期まで、放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会の下の研究用原子炉の在り方検討小委員会が研究用原子炉の在り方を審議し、提言や記録を発出してきた。この小委員会を原子力安全に関する分科会の下へ移して再出発するものである。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究用原子炉のあるべき役割</li> <li>2. 研究用原子炉の持つべき機能</li> <li>3. 研究用原子炉の備えるべき要件</li> <li>4. 研究用原子炉の共同利用体制</li> </ol> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成30年1月25日～平成32年9月30日
6	備考	※事実上23期からの継続